

2025年4月CPについて



【4月CP分析】

原油価格が下落基調で推移したことに加え、アジアのLPG需給に引き締めは見られなかったものの、3月下旬にサウジアラムコのLPG輸出余力が乏しいとの情報が広まったことにより、4月プロパンCPは、前月比±0.00ドルの615.00ドル/トン、ブタンCPは、前月比±0.00ドルの605.00ドル/トンにて決定しました。原油価格は、OPECプラスが4月からの自主減産幅の縮小を発表したことや、米国の関税政策に伴う世界的な経済低迷懸念から、前月比で下落傾向にて推移し、3月1日～26日平均のアラビアンライト原油価格は75.66ドル/バレル、前月比▲5.47ドル/バレルとなっております。LPG価格は、原油価格の下落と、低調なアジア地域のLPG需要という下落要因が強かったものの、3月下旬にかけて、サウジアラムコのプロパン輸出余力が乏しいとの情報が広まったことで相殺され、4月プロパンCPは615ドル/トン（前月比±0.00ドル）、ブタンCPは605ドル/トン（前月比±0.00ドル）と決定しました。実際に、サウジアラビア国内の石油化学原料用需要の増加を背景に、4月のサウジアラムコのLPG輸出量は減少が見込まれております。アラビアンライト原油に対する熱量換算値は、プロパンで原油対比99.1%、ブタンで98.9%と、プロパン、ブタン共に、3ヶ月連続で、熱量換算値100%を下回る水準となりました。